

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第374回

外尾悦郎

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年11月2日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

人は答えを得た時に成長するの
ではなく、疑問を持つことが
できたときに成長する。

外尾悦郎は、日本の彫刻家。カタルーニャ、バルセロナのサグラダ・ファミリア主任彫刻家。福岡県福岡市出身。京都市立芸術大学美術学部彫刻科卒業。

Column

私自身、勉強不足でしたが文化遺産に登録され、1882年に着工しましたが今もなお建築中（2026年に完成予定だが遅延しており、予定通りの完成はほぼ不可能と言われている）であるサグラダ・ファミリアの主任彫刻家が日本人だったことに驚きです。外尾氏は2000年に完成させた「生誕の門」が、2005年にアントニ・ガウディの作品群としてユネスコの世界遺産に登録されました。2012年、国際社会で顕著な活動を行い世界で日本の発信に貢献したとして、内閣府から“世界で活躍し『日本』を発信する日本人”の一人に選ばれたという日本を代表する彫刻家です。サグラダ・ファミリアのような巨大な建造物をひとつの彫刻作品として捉え、制作に携わることができるのは大きなロマンを感じます。

スケールの大小に関わらず、私たちは人生において様々な出来事や乗り越えるべき課題に直面してきました。そして今後も直面することがあるでしょう。今回の言葉を知るまで、私は答えを得た時や答えを出すために努力している時に人は成長すると思っていました。しかし、その前の段階である疑問を持つことができた時に成長するという考え方を今回知ったことで、今後の自分の人生に訪れる課題や困難に対する恐れが軽減されたような気がしました。『なんで？』と思うことや『これは問題だ』と思った瞬間から成長が始まると考えることができれば、『大変＝チャンス』と捉えることができるからです。毎回そのように捉えることは難しいのかもしれませんが、少なくとも苦しい時に自分を励ます方法を教わったような気分になりました。

ここまで述べてきて感じたこととして、外尾氏のように『〇〇の第一人者』と呼ばれるような人に共通していることは、非常にポジティブで自己肯定感が高いということです。“小さな幸せ”という言葉がありますが、幸せなのに“小さいから”と、むしろ不幸だと勘違いしていませんか？“幸せに大きいも小さいもないんだからこの出来事は最高だ！”と自分で幸せを増幅してしまうほどのポジティブさを身につけることで、自分でも驚くようなパワーを発見できるかもしれませんね！自分の可能性を高めていきましょう！